

平成30年度 福井市灯明寺中学校 スクールプラン

【福井市学校教育目標】

「郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成」

【福井市学校教育方針】

「地域に根ざす『学びの一貫性』」

【灯明寺中学校区教育】

- ・学習や生活における「灯中校区スタンダード」の推進
- ・小中9年間を見据えた児童生徒理解の推進
- ・中学校区合同挨拶運動の計画的実施
- ・小中の円滑な接続と中学校区教員による相互交流

【学校教育目標】

「自主的で活力に満ち、心豊かで誠実な生徒の育成」

【校訓】

研学
振気
愛敬

【目指す生徒像】

- ・互いに研き合い、自ら学ぶ意欲のある生徒
- ・互いに励まし合い、覇気あふれる生徒
- ・互いに認め合い、信頼され、尊敬される生徒

【研究主題】「主体的・協働的に学ぶ生徒の育成」

～生徒自身が学びを実感できる授業づくり～

【目指す学校像】

「生徒の笑顔があふれる学校」～賢く、優しく、たくましく～

【目指す教師像】

- ・教育に対する熱意と使命感をもつ教師
- ・豊かな人間性と人権感覚をもつ教師
- ・生徒のよさや可能性を引き出し、伸ばすことができる教師
- ・組織人としての責任感・協調性を有し、互いに高め合う教師

重点目標

学ぶ楽しさを実感できる授業づくり

- 深い学びを実現する授業の創造
- 学力向上に向けた基礎基本の習得
- 学習習慣の定着と学習規律の徹底

認め合い、高め合う集団づくり

- 自己有用感を育む学年・学級づくり
- 生徒の手による諸活動の活性化
- 自己実現を図るキャリア教育の推進

豊かな心と健やかな体づくり

- 道徳的実践力と人権感覚の涵養
- 基本的な生活習慣の定着
- 自己健康管理能力と体力の向上

家庭・地域から信頼される学校づくり

- 地域理解と愛着を高める体験活動
- 教育活動の公開と情報発信
- 家庭と連携した情報モラル教育

具体的な取組

- 授業におけるICT機器の活用や学習課題提示の工夫、学びの振り返りを設定。
- 積極的な授業公開と、UD化等の観点から教科の枠を超えて相互の授業を参観。
- 学力調査等の結果を活かした授業改善。
- 朝学習、ドリルコンテスト等の実施による基礎基本の習得と事後指導の徹底。
- 自主学习ノートを活用した家庭学習の習慣化と内容の充実。
- 灯中版「学習の心構え」の徹底により、落ち着いた学習できる集団を形成。
- 朝読書や図書室活用など読書活動の推進。

- 教師主導で行う「居場所づくり」と生徒が主体となる「絆づくり」の推進。
- 集団への所属感や成就感の獲得に向け、成功・感動体験を味わえる活動を設定。
- リーダーやフォロワー等の役割、目的を意識した縦割り活動や学年・学級活動。
- 自治活動や話し合い活動の場面を多用し、生徒自らの運営により問題解決を図る。
- 生徒一人一人が互いの個性（よさ）を認め合うことを重視した学級経営。
- 夢や目標に向かって、自分の生き方を考える進路学習の充実。

- 思いやりや感謝を柱として、日常生活や学校行事等と関連させた学年道徳を実践。
- 生徒主体の人権集会やいじめアンケートを計画的に実施。
- 挨拶や返事の励行、時間の厳守、黙働及び気づきの心を育てる清掃活動を徹底。
- 生徒がつながりの中で安心して相談できる教育相談体制づくり。
- 健康課題を改善できる判断力・実践力の向上に向けた保健指導の実施。
- 体育の授業や部活動を基盤とした運動量の確保と基礎体力の向上。

- ボランティア等、公民館等地域団体主催行事への積極的参加。
- 地域の人・もの・施設・自然等を活用した学習支援の促進。
- 授業や学校行事、生徒集会等の積極的な公開と教育ウィークの工夫。
- 灯中だよりや学年通信、ホームページ等による教育活動の定期的な情報発信。
- 「灯中スマートルール」をふまえた適正なネット利用を生徒・保護者に啓発。
- 電話や来校者に対する丁寧かつ誠実な対応。

数値目標

- ・学ぶ意欲を高める授業の工夫 95%
- ・授業がよく分かる 90%
- ・家庭学習を丁寧にできた 90%
- ・学習の心構えを守って学習した 95%

- ・みんなで活動するのは楽しい 90%
- ・生徒のよさや可能性を引き出す 90%
- ・縦割り活動や話し合い活動の実践 85%
- ・将来の夢や目標をもつ 80%

- ・学校へ通うのが楽しい 90%
- ・いじめ解消率 100%
- ・挨拶や黙働・気づきの清掃 90%
- ・食事や睡眠、健康な体づくり 90%

- ・生徒の地域行事への参加 85%
- ・教育活動や教育内容の適切な公開 95%
- ・「灯中スマートルール」の遵守 85%
- ・電話や来校者への丁寧誠実な対応 100%

＜R-PDCAサイクルの推進＞ 調査(R)→計画(P)→実行(D)→点検・評価(C)→修正(A)

↓↑

◆教職員組織による協働と業務運営の効率化。

＜学校評価を生かした学校改善＞

◆教育活動や学校運営状況を評価し、結果に基づき学校運営の改善を図る。

＜業務改善のための取組＞

- ◆部長・主任レベルで議案を練り上げ、会議所要時間を短縮。
- ◆校内ネットワークの工夫とデータファイルの管理・整理。
- ◆各部・学年・教科等の物品収納場所を「見える化」。